

「主を待ち望め。その道を守れ。そうすれば、主は あなたを高く上げて、地を受け継がせてくださる。」

(詩篇 37:34)

ハレルヤ！ 今、日本に向かう飛行機の中です。今回、ニュースレター書く前に2往復半してしまいました。レターが遅くなって申し訳ありませんでした。相変わらず至らない歩みで、悔い改めの日々ですが、神様のあわれみの中で、いろいろと新しい扉も開かれて感謝な日々です。国会議員の皆さんとの出会いとか、全国各地での映画「ファイアーストーム」の試写会の扉とか。マガジン32号も出来ましたので、お届けしますね。コンベンションに向けての準備も進んでいますので、ぜひ、ご参加ください。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

この2ヶ月、いろいろな新しい扉が開かれました。その内の一つが、国会議員の皆さんや文科省の皆さんとの出会いです。詳しくは、今回、お届けしますチア・マガジン32号8ページ「祝チア・にっぽん10周年—国政からのエール」に特集させていただきましたので、ぜひ、ご覧ください。各国議員の皆さん、チャーチ&ホームスクーリングの本質に共鳴くださり、応援のこたえを寄せてくれています。

10年前のチア・にっぽん立ち上げの時から応援くださっている土肥隆一議員（民主党議員会長）「チア・にっぽん、満10年おめでとうございます。日本の教育界に提言され…ホームスクーリング、チャーチスクールという方法を基盤に実践してこられました。…親は自分の子どもを教育する「能力・力」を失った教育のアウトソーシングの状態…主体的に子育てに取り組む運動に参加されませんか」と励ましてくれました。

私のふるさとの弘前出身で大学を経営し「聖書」のこたえを学生に伝え続けている下田敦子参議院議員（全国区）も「教育の原点、聖書、親の責任に立ち返ることは素晴らしいですね！」と共鳴してくださいます。

二人で話していると、「少子化対策の会議なのですが、下田先生にも参加お願いしたくて…」と、議員会館にある下田議員の部屋を、元法務大臣、少子化対策大臣の南野知恵子議員（自民）が訪ねてこられました。助産師として英国で留学にされていた方でもあります。「(稲葉)チアの中では、少子化は別世界。問題ないですよ。子育ての喜びや大切さに目覚めて、神様が与えてくださるなら、子どもが3人、4人という方は普通。子どもが5人、6人というご家族も増えています。チア・コンベンションには1200人ほど参加してくれますが、そこに子どもたちが600人以上いて、元気いっぱい、あふれかえっています。少子化対策で大事なことは、親が子育ての意義や使命にどれだけ気づくかだと思います。その根源的な喜び、楽しさを啓蒙していくことは大切だと思います」「なるほど。なんか素晴らしいですね」「目覚めた親を祖父母や地域が支えていく。その原点に帰るのがチャーチ&ホームス



白血病の満音（まのん）君、3カ月のICUの危機を超えて一般病棟へ（名古屋第二赤十字病院ICUにて）

クーリングです」「親を周囲が支える…。そうですね。昔は、助産師が40年も50年も家族代々つきあって、出産だけの分業ではなく、子育てのこととか何かあれば、助けにいく家族の一員というか、そんな存在だった」。下田議員も「確かに、親ですね。そして、聖書ですね。私も、津軽のキリストのムーブメントの中でクリスチャンとなった大祖母の影響が大きいし、ずっと私を支えた母の力が大きいです。チアの働きを心から応援したいです」とのことでした。

学生時代、伝道団体のナビゲーターを通してクリスチャンとなった木俣佳文参議院議員（愛知）は、佐々木満男弁護士から、「教育の志を持っているから、ぜひ会ったら」と勧められていた方でした。「百ます計算」の陰山英男 立命館大学付属小学校副校長や、柔道の山下泰裕 東海大教授、マネージメントセミナーで著名な青木仁志・アチーブメント社長らとの対談集を出版されてもいます。

「最近、示されていることは、主を恐れることです。本当に主はすごい。その主を恐れて、聖書の教えと力に立ち返る、チャーチ&ホームスクーリングというのは、まさに時代、光の波が来ていると思う。うらやましい。やりがいあるでしょう?」「そう。もちろん、苦労や犠牲を伴うけど、それだからこそ、親や子ども、祖父母、教師、教会と、原点に立ち返り、元気になっていく。やりがいありますよ。特に、10年の歳月が経ち、関わらせていただいた子どもたちも成長してきて、砂漠が森になり、果樹園になり、、、という感じで、喜びもひとしおですね」「うーん。この働きはすごいです」とのこと。

「文部科学省の担当者とは会っていますか」と聞かれるので、「スタートして10年でいろいろと実が結び始めているので、私たちの現状報告しておくのにいいタイミングかもしれませんね」と答えました。それでアレンジしてくださり、2日後に、4人の担当課長さん、係長さんが木保議員の部屋に集まってくれました。木保議員曰く、「こちらの課長さんは、次の次の事務次官候補ですよ」とのこと。内容はオフレコという約束をしたので書きませんが、とても感謝な話し合いの時でした。3日後、文科省の方から電話をいただき、チアの聖書に立つ教科書シリーズを提供いただけないかということで送らせていただき、チア・にっぽんの教科書が、文科省の門をくぐることとなりました。

「国会へ行こう!」は満席・第二回仮予約募集へ

上記の下田敦子議員と話して、今回の合同学習会（第9回）を「国会へ行こう!」というテーマで、国会議事堂、憲政記念館、議員会館を訪ねる方向で企画しました（4月6日予定）。約60名ということで、先にチアのホー



佳音ちゃん（10）があやす奏音ちゃん（1）は、「いやしの君」で病院の人気者！（名古屋第二赤十字病院）

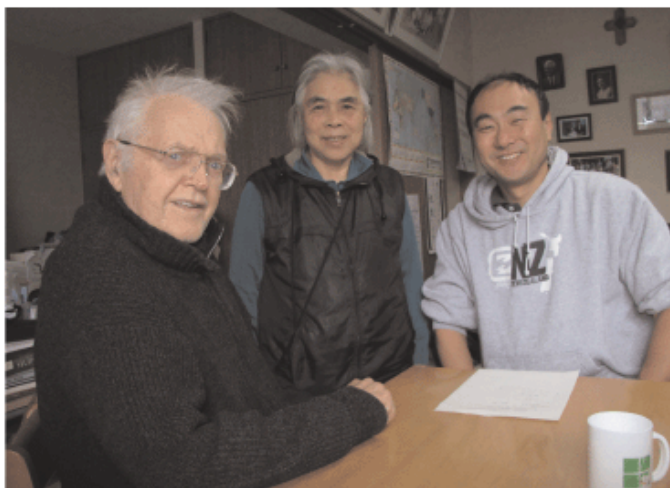
ムページで紹介したところ、ニュースレターでの正式募集の前に、口コミで広がってしまいました。ニュースレター発送までは、と増員して対応していましたが、一気に110名になってしまいました。約3200家族・教会の皆さんに情報が伝わる前段階なので、すごい反響だなーとうれしい悲鳴で、感謝しています。普通の国会議事堂見学なら大人数でもいいですが、議員会館訪問とかを考えているので、さすがに、1回に100名が限界だと思います。それで、とりあえず、第一回めの今回は募集をストップし、近日中に2回目を企画させていただき、第2回めの仮予約募集に切り替えさせていただこうと思っています。どうぞ、お申込みください。

白血病の満音くん、危機を脱する!

白血病の満音（まのん）君（5）の病状が、年明けから急激に悪化し、ICUで2ヶ月半を過ごす、緊迫した日々が続いていました。一時は、森山夫妻からのメールを開けるのも、少し勇気がある状況でしたが、まさに「奇蹟的」な回復をみせてくれ、あと数週間でICUも出れるのではという状況まで導かれています。ハレルヤ! 2月9日には、名古屋の病院に見舞う機会が与えられました。その前の週は、かなり体調良くなっていたのですが、週末には悪化して、麻酔から意識が戻らない日々が続いているとのことでした。エレベーターからおりと、森山剛さんが待っておられ、その場で、深刻な状況を話してくださいました。その後、ICUに入院中の方のための専門の面会室で、有佳子夫人や、佳音（かのん）ちゃんらと会いました。ご家族は、ご夫妻の一人が交代で満音君に夜通し付き添い、ほかの3人は、その面会室の三畳間で3ヶ月あまり昼夜を過ごすという生活です。昨夏の一般病棟の時から含めると病院でご家族が暮らす日々も7ヶ月になっていました。奏音（その）ちゃん（1才）は笑顔いっぱいの赤ちゃんで、病院の看護師さんらに大人気。「いやしの子だわー」と皆さんにかわいがられています。佳音ちゃんも、病院を生活の場としてのホームスクーリングの日々。よく、奏音ちゃんの世話をし、とてもいいお姉さんでした。「実は、この2、3日、さすがに落ち込んでいました。良くなったと思っていたら、また悪化して、今度こそ、だめかという不安に駆られる気持ちになって、、、」という森山さんご夫妻。「でも、40日めになる3日後にいやされるという思いが与えられていて、信じて祈ってます」とのこと。お昼を一緒に食べてから、午後、ICU内で、脳への影響を検査している満音君をお見舞い。意識のない満音君ですが、手を握ってみんなで祈りました。3日後、森山さんからうれしいメールをもらいました。「祈らされていたとおり、3日後に意識が回復しました。脳へのダメージもないとのこと! ハレルヤ!」でした。その後も、回復は順調で、上述のとおり、間もなく一般病棟に移れそうとのこと。主を讃えます。ぜひ、続けてお祈りください。

ポールさん伝道への気骨、せつ子さん脳梗塞、軽度ですむ

久々に、ポールさんとせつ子さんのお見舞いに伺う機会



せつ子さんの誕生日にて。ポールさんとせつ子さんと共に。

が与えられました。心臓病、脳梗塞、糖尿病と闘病中のポールさんですが、その後も、順調にリハビリに向かっています。「和紀子さんは、元気になっているの？ チアの皆さんはどうか」と気遣ってくれていました。せつ子さんは1月に脳梗塞となり、10日間ほど入院されていました。でも、初期の発見だったこともあり、今はまったく後遺症等ありません。「神様に感謝したの。もっともっと、神様に従順になれるようにと祈ってる」とのことです。伺った日はせつ子さんの誕生日で、お昼を一緒に食べながら、みんなで誕生日を祝いました。ポールさんに今示されていることを伺うと「伝道すること」とのこと。以前のように体は動かないので、バトンを受けて伝道している子どもたちやチアのみなことを、祈って応援してください。ととても励まされました。夏のキャンプには、来て話して下さる予定です。ご夫妻のことを続けてお祈りください。ダニエル・ファンガー園長やモテ・ファンガー・グレイプシティ財務部長さんらのお父さんで、よく夏キャンプ等で話してくれたクリフさん(89)も末期がんと診断され闘病中です。でも、やはり伝道に燃えておられます。先日台湾から80歳の方が息子さん家族を訪ねてきた時に、「みな、家族だから」と起きてこられたそうです。そして、「クリスチャンを含めて、私たち人間はよく間違い、償いのだけど、赦し、天国に導いてくださるために、イエス様は身代わりとなって、十字架で、死んで罰を受けてくださった」と福音を分かち合うことができたそうです。子どもさんや、お孫さんのことがわからなくなったりとか、老いていく苦しみの中にもあるそうですが、命かけてきた伝道への気骨を感じる先人たちの姿にとっても励まされます。

親(祖父母)のお見舞いアイデア

仙台の後に、弘前の両親のお見舞いに向かうことにしました。この半年、なかなか時間が作れず、久々になってしまいました。「父母を敬いなさい」は大事ですね。二人を世話してくれている妹の光子に感謝しつつ向かいました(小学6年生の学年主任ということで、連日、夜10時ごろ帰宅でがんばっています)。皆さんに祈っていた

だきました父はその後、心臓病も脳梗塞の後遺症もなく、とても元気にはしていました。介護施設に入所している母を毎日、お見舞いに行っています。母は一時、寝たきりになっていましたが、生きる使命と希望が増し加わり、リハビリ効果も表れ、ずいぶん歩けるようになって感謝でした。5年ぐらい前に送った「写経聖書」をリハビリを兼ねて、始めてくれています。「お父さんが励まして、喜んでくれるの。それがうれしい」とのことでした。感謝。ホームスクーラーのAさんが、最近、「介護施設にいる親をできるだけ家に連れてきて過ごさせています」とメールくれました。父も妹も母を連れて帰りたいですが、体力的に難しい状況にあります。Aさんの姿にいいアイデアをもらい、僕も、次回帰郷した時でも、半日でもそのようにできたらと思い、祈ることにしました。母には、「祈りの使命、たくさんあるよ。チアの皆さんのことも続けて祈ってね」と伝えました。「祈ってるよ」とのことでした。

小樽の両親は元気で、今は成田空港からの電話コミュニケーションです。やはり半年ほど、ご無沙汰ですので、また行けたらいいなと思っています。最近、「時代がホームスクーリングになってきた！ カンパします」と言って、励ましてくれました。両方の親とも、今年度、金婚式。お祈りに覚えてくれたら感謝です。

ファイアーストーム 全国試写会へ

1月下旬、ソニー・ピクチャーズの皆さんとファイアーストーム展開のミーティングをしました。そして願っていた、小規模のところにも許可いただく旨、扉が開かれました。今まで、大規模のところの扉はスムーズに開かれていましたが、小規模のところには時間を要していました。幸い、DVD+書籍セットが12月、そして、1月下旬とチア、ソニー共に在庫切れになる展開となり、ソニーの皆さんとこの1年重ねてきた信頼関係も、さらに深まっていくことができました。クリスチャン系メディアの皆さんも、各社、積極的に取り上げてくださり、追い風でした(TVはライフライン、CGNTVは久米小百合さんの「本の旅」、クリスチャン新聞、恵みの雨、リバイバル・ジャパン、ファミリー・フォーラム、と次々と取り上げてくださいました(参照18ページ)。ソニーの皆さんはミーティング中、「それでは福音とは何か」等、尋ねてくださり、心から感謝でした。

その結果、この2ヶ月、全国で試写会の扉が開かれ、とても感謝でした。ある企業の社長さんが、ノンクリスチャンの社員14人で観てくれ、「みんな涙を流してた！」と報告してくれました。その時、参加できなかった社員の方が家で観て、翌日「この神様だったら信じてもいいなあ」とコメントくださったそうです。別の社長さんは、ノンクリスチャンのBさんに貸し、「これ、もらってもいい？」と電話を受けました。Bさんは友人のCさんに渡し、Cさんが「これよかった。もらってもいいか」と言われたのだそうです。後日、Bさんと話すことができました。「友人のCさんが離婚寸前だったのを知っていたので、これ見て良かったので、すぐに送りました。Cさんは、すごく感動して、助けになったと言ってた」「今、C

さんはどうしてますか」「離婚してないです。DVDも本も、役立ったようです」とのこと。浜松の教役者大会でも、220名を超える方が集まってくださり、ある方が私のところに来られて、「今、実は別居中なのです。愛し、赦すこと、聖書のみことばが示されました！」とのこと。大宮での50名あまりの試写会後、16歳の女の子にどうだった？と聞きました。「私はずっと、神様をはっきり信じていなかった。この映画を見て、それではいけないと思った。信じて、洗礼も受けようと思いました」。ANRC（帰国者カンファレンス）でも、240人あまりが来てくれ、部屋は文字通り、立錫の余地なしでした。「教会で2組、すれすれの家族がいて、渡したら、最初、嫌な顔されました。でも、その後、「40日プランの今、7日目です！」って感謝されました」とのことでした。ある方は「え、試写会来なかったの？絶対、観て。私は10回は泣いたよ！」とのこと。「自分は教師なので、自分の高校でこれを見せたい！」「幼稚園を営っていますが、保護者のために行きたい」、「アメリカ軍の基地でも見せたい」、。人数によって、5万円-50万円と費用のかかる試写会が、無料で少人数でもOKとの道が開かれたわけです。この扉が開いているうちに、4-5人の集会から大規模集会まで、チャンスを生かし、全国各地で草の根展開が進むこと、夫婦・家族の聖書への回復が進むことを心から祈っています。そして何より、「悔い改め」。私の心にも、10回でも15回でも観る度に、読む度に、なにか語りかけがあるので、感謝しています。どうぞ、全国での展開のためにお祈りください（試写会については17ページ）。

結婚20周年の共同作業

ジョセフも早、1才半になりました。和紀子が、琴のコンサートで4日ほど、アリゾナ州に行くことになりましたが、真祈史やエミリの世話で、元気に過ごしていました。最終日は、そんなジョセフと一緒にハイキングに連れていきました。真祈史とマウンテンバイクをするような所なので、結構、急斜面を楽しんでいました。ハイキングで疲れ

ていたせいもあったと思いますが、車から降りない時がありました。それで軽くですが、少し愛のムチ、スパンクの時を持ちました。すると、その日、4日ぶりに帰ってきた和紀子に懐き、僕には、よそよそしい感じになりました。特に僕の方から機嫌を取ることはしませんでした。でも翌日は、ジョセフは、いつも以上に僕に近寄ってきて、遊びたがるので、不思議な思いでした。私の母曰く、「それは、ジョセフが昨日はごめんなさいと言ってたんだよ、きっと」とのことでした。僕も、そう思いました。

今月は、和紀子と僕の結婚20周年でした。和紀子は知人に頼まれ、何度か日本に輝いている若き25弦の琴のデュオ「kokohana」のコンサートを企画することになっていました。和紀子はプロデューサーになることは初めてで、これは「ファイアー・ストーム-決断する愛」というか、和紀子と僕が、一緒に共同作業するチャンスでいいなあと思い、手伝いました。kokohanaの二人と御両親の6人の皆さんが来てくださり、ハリウッドとLAで、2回のコンサートを行いました。一人のお父さんが、「昨日、夕食の時に祈られた祈りにとても感動しました。他の人のために、自分は何ができるか、その使命を果たす力をください、そのための祝福を祈って、これだって、心にすとききた。すごくいい」「主人はすごく感動したようで、昨日から、ずっとそのことを言っています」とのことでした。なぜ、クリスチャンになったのか、キリストの福音とは何なのか、積極的に尋ねてくださり、とてもうれしかったです。僕は、日本でのセミナー等のために途中まででしたが、最後のコンサートも祝福され、先方も喜ばれ、和紀子もうれしかったようで、とても感謝でした。

ヨブ記について語った、ある伝道者のことばが心に残っています。多くの苦難を、主が許されたヨブ。彼は苦難を通して、自分の高慢さを知り、神様の偉大さの前にひれ伏します。心砕かれたヨブは、子どもも、資産も倍以上、祝福されます。そんなヨブは、その当時の慣習にはなかった娘家族にも、遺産相続したことが記されています。当時は、娘家族に財産が渡るといことは、その夫、つまり他の一族に財産を取られるとされ、娘たちには相続されませんでした（参照：民数記 27：1-11）。しかし聖書には、ヨブの3人の娘の名と相続した事実が明確に書かれています。「父は、彼女たちにも、その兄弟たちの間に相続地を与えた。」（ヨブ 42：15）苦難を経たヨブは、当時は他人のような娘婿の家族にも、惜しみなく与えるように変えられていったというわけです。

主にあって、苦難が許されていくことがあります。でも、その苦難を通して、子どもたちにも、親にも、知人にも、あるいは、まだ知らない人々にも、もっと与えられるようになるようにと祈らされています。キリストが、私たちに命をささげてくれたように。

今年もコンベンションが近づいています。満席になった「国会に行こう！」プロジェクトや、各地での「ファイアー・ストーム」の試写会も、どうぞ、続けてお祈りください。

皆さんへの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫



ジョセフ18カ月。「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、天地を造られた主から来る。」（詩篇121：1、2）

チア・にっぽん 第10回 合同学習会

国会へ行こう！（パート2）**期日決定！ 6月2日（水）午前9時45分****「模擬国会体験コースつき」（オプション）****☆受付スタート！ お早めにどうぞ！☆**

優先予約を受け付けておりました第二回の日程が決まりました。6月2日（水）です。すでに優先予約申し込みいただいた皆さん（京都を始め、全国各地から大変、感謝です）は、そのまま優先的にOKとなります。今、申込み準備中の皆さんは、早めにお申し込みください。今度は国会開催予定日ですので、第1回めのスケジュールになかった国会審議の様子も見られる予定です。（状況によっては、国会が無いときもありますので、その時はご容赦ください）

「模擬国会体験コース」も組んでいます（「実際の法案がどのように審議、可決されていくのか、ロールプレイで実践するコース」。主に10～15才対象。当日の参加人数によっては、大人や低年齢の皆さんも傍聴できます。約1時間。午後3時30分終了。幼児ファミリーは2時ごろ帰宅可能です）。

108名という大集団での参議院議員会館の議員室の訪問等、かつてないチャレンジでしたが、参加者の皆さんが「チアの皆さん、とても礼儀正しく、のびのびしている感じが！ 明るく、落ち着いていますねー！」（下田敦子参議院議員のコメント）とのことで、すべてスムーズに行き、コーディネートくださった下田敦子参議院議員、スタッフの皆さんらに好評でした。それで次回、第二回めは6月2日（水）ということで、快諾していただきました。第一回めの参加の皆さんも、今度は、1回めに無かった国会審議を見れることはもちろん、全容を、祈りながら、冷静にじっくり見られるというメリットもありますので、申し込んでいただいで大丈夫です。

もし午後からの体験コーナーだけで良ければ、今の段階は、国会の方にも席があるようなので、大丈夫です。午後からの場合は、食費はいりません。

どうぞ、こぞって申し込みください。ますますの祝福を祈っています。

（予定）参議院議長貴賓室→天皇・皇族休憩室→参議院本会議場→議事堂前写真撮影→憲政記念館→参議院議員会館下田敦子議員の部屋訪問→模擬国会体験（オプション）等

■ **参加費** 無料です。憲政記念館の昼食代実費（1150円）のみお願いします。子ども料金は無いようで、申し訳ないですが、同じ料金だそうです。（食事の持ち込みはだめだそうです。2才以下や事情等ある場合は、2人で分けて食べて一人分とすること等が、若干であれば、許されるようです。）

■ **コーディネーター** 稲葉 寛夫

■ **振込方法** 昼食代（1150円）は、郵便振替あるいは銀行振込にてお支払いください。正式申し込み後は、キャンセル・返金等できないので、ご注意ください。

●郵便振替：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
●銀行振込：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普）1746716
ホームスクーリング・ビジョン(株)

第2回 国会へ行こう 申込書

⇒ FAX：03-6862-8648 Eメール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名		(携帯)	
		お電話	
模擬国会 参加希望 ()		午後からの参加希望 ()	
ご住所 (〒)			
昼食代 1150円 × () 人 合計 () 円			
参加者ご氏名 & 性別 & 年齢 & 模擬国会体験希望			
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳
模擬国会 参加希望 ()	午後からの参加希望 ()	模擬国会 希望 ()	午後からの参加 ()
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳
模擬国会 参加希望 ()	午後からの参加希望 ()	模擬国会 希望 ()	午後からの参加 ()

父の心を子に向け、子の心を父に向けて——（マラキ4：6）

チア・コンベンション2010

昨年参加1200名!

関西 5月21日（金）～22日（土）
生駒聖書学院（奈良県生駒市）

東京 5月28日（金）～29日（土）
国立オリンピック記念青少年総合センター



《主講師》 フィル&スージー・ダウナー夫妻 Phil & Susy Downer

(Discipleship Network America)

長男ポール（27）と次女アンナ（20）も講演！



■ フィル氏の予定セッション

- 1 かけがえのない父の役割（スージーと共に）
Dad's Irreplaceable Role (Joined by Susy)
- 2 ホームスクーリング・ママを支援し、励ますために（スージーと共に）
Supporting and Encouraging the Homeschool Mom (Joined by Susy)
- 3 真理と愛をもって家族の争いを解決する Resolving Family Conflicts in Truth and Love
- 4 父と息子のための、純潔と説明責任（男性のみ対象）
Purity and Accountability for Fathers-Sons (The only workshop session that is NOT coed.)
- 5 ホームスクーラーの結婚生活 - 単なる継続から成功に向かって！（スージーと共に）
The Homeschool Marriage—From Surviving to Thriving! (Joined by Susy)
- 6 神を敬う者として訓練する鍵 The Keys to Godly Discipline

■ 長男ポール氏（27）の予定セッション

- 7 頑固な子どものホームスクーリング - まさしく私です！ Homeschooling the Strong-willed Child - I Am One!

ほかアンナの分科会など、多数予定。

New!! 東京 Tokyo 《主講師》 カレストッド・ファミリー Kallestad Family

1万8千人教会の牧師からの教育・マネージメント・
リーダーシップ&悔い改めのメッセージ！



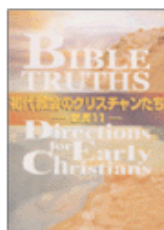
●ウォルト・カレストッド氏：コミュニティ・チャーチ・オブ・ジョイの主任牧師。ミネソタ州のコンコルディア大学とルター神科大学院大学を卒業。フラ神学校で博士号を取得。1978年、アリゾナ州の小さなルーテル教会に就任し、わずか数カ月で会衆が50%に減少、謙遜を学ぶ。今日では1万8千人に成長。98年にアメリカ福音ルーテル教会に加盟し、チャーチスクール（プレ・幼稚園・小学校・高校）、インターナショナル・リーダーシップ弟子センター、記念ガーデン、カンファランス・センター、クリスチャン・カウンセリング・センターがある187エーカーの土地を捧げた。

＜主な著書紹介＞

- ・「ひざまづく信仰—悔い改めがもたらす恵み（Reign down）」
- ・「情熱の教会—商業的な教会から弟子作りの教会へ（Passionate church）」
- ・「起業的な信仰（Entrepreneurial Faith: Launching Bold Initiatives to Expand God's Kingdom）」
- ・「24時間・クリスチャン・リーダーシップへのガイド（Anytime Guide to Christian Leadership）」
- ・「24時間・祈りのガイド（Anytime Guide to Prayer）」

★ 早期申込み特典! ★
教科書・DVD聖書プレゼント!

4月30日(金)までにお申込み＆ご入金いただいた大人の方に、「聖書6」「聖書10」「聖書11」(各2800円相当)、またはDVD聖書の中から、いずれかひとつ、もれなくプレゼント! ぜひお早めのお申込みを!!



LIT (リーダーズ・イン・トレーニング) <13-18歳対象>
路傍伝道プログラム (初) も検討中! (希望者対象)

大好評のティーン向け弟子訓練コースも大募集! キリストの弟子として子どもたちを助けていく訓練を受けます。今年は期間中、グループに分かれ、希望者は路傍伝道に出かける時間も検討中! (新宿駅での伝道パンフ配り、聖句看板体験ほか)。全国の仲間たちと福音を伝えませんか? 他にもLITは盛りたくさん! まずはコンベンションパンフの申込書でチア事務局に連絡ください!

* 第1回 チア・にっぽん杯 *

絵画コンクール

聖書の一場面を絵画で表現しよう!

コンベンション会場で表彰式&展覧会

初 めての絵画コンクール開催を決定しました。「読書感想文」では「読書」や「書く力」を、「絵画コンクール」では、「絵」の賜物を伸ばす機会を、との思いからです。作品のテーマは「聖書」です。聖書のどの場面でもOKです。自由で想像をふくらませて絵画に描いてみませんか。表彰・展覧会は、コンベンション会場です。どなたでも大歓迎! お待ちしています!

<応募要項>

■**テーマ**: 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■**部門**: (1) 小学生の部 (2) 中高生の部
(3) 一般の部

■**作品のサイズ**: 自由(画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です)

※【下記の記入項目を作品の裏にご記入頂き、ご応募下さい】
氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■**応募締切**: 5月10日(月)

■**応募先**: 〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷
8-7-13-207 チア・にっぽん事務局
「絵画コンクール」係



C & Hの先輩、木林曉音さんの作品

<http://orangestudio.homeip.net/gallery/album/userid32220>

チア・コンベンション来日先行掲載

「親密さを建てる」 Building Intimacy

フィル・ダウナー Phil Downer

受容、愛情、肯定、そしてほかの親密さをもたらす品格に満ちた関係を、夫婦間や家族において築くことは、極めて重要なことです。精神面の安定においても、肉体的な健康においてもとても大切です。夫婦間や家族同士で、親密な関係を築くことは、歯車が狂っているこの世の中において、必要不可欠なのです。

しかし、このように親密さを育んでいくことは、私たちの多くが育ってきた環境とは縁が薄いのではないのでしょうか。私自身の過去の経験からいってもそうです。男の子は大きくなったら泣いてはいけない、人の注意をひこうとしてはならない、感情的になってはいけない、傷ついたり弱虫ではない、と「絶対、だめ」と「絶対」言っただけで、という規範のもとで育ちました。それらの規範がけん引役となって、行動パターンを形成していきます。

私が身につけた感情といえば、ただ怒りだけでした。例えるなら、フットボールの競技場、あるいはバスケットボールのコートにいるような感じです。試合で熱き戦いを繰り広げている時は、誰かがある程度叩いたって許されます。

万が一、怪我をしてしまっても、痛いなんて思うことは許されません。私と一緒に成長した男たちのほとんどは、みな同じような倫理観のもとで育っていました。

これらの原則を身につけることは容易ではありませんでした。でも、私を傷つけるある出来事によって、それらの原則が、強制的に自分を縛る行動規範となりました。私はこの時のことを今でもよく覚えています。自宅前の道路で、父から「この人がお前の新しいお母さんだよ」と、ある女性を紹介された時のことを――。

私の実の母は数々の苦難に直面し、耐えながら生きてきました。多くの時間を心療内科で過ごしました――当時は「精神病院」と呼んでいました。私は、血の海の中で倒れている母を発見しました。初めて母が自殺未遂した時です。

母にはたくさんの問題がありましたが、私は母をとっても愛していました。だから、新しいお母さんが必要な理由など理解できませんでした。父が「この子たちはお前の新しい弟や妹だよ」と、小さい子たちを指して言ったときも、そんな身の毛がよだつような話は聞きたくないと思いました。たいていの人がそう思うのではないのでしょうか。その日、私は、心に誓いました。二度と父のことをハグしないことと、もう、これ以上の涙を流すことはない。

私は泣きませんでした。ベトナム戦争に出兵し、その最中、多くの友人を戦闘で亡くしましたが…。狙撃兵の奇襲にあい、親友が私の腕の中で死んだ時もそうです。砕かれ、ねじれてしまった戦友たちの遺体をヘリコプターに寄せ、その遺体を焼いた時も、涙はこぼれませんでした。

こうした状態は、一般市民の生活に戻り、結婚した後も続きました。妻のスージーにも、自分の心の内を見せるこ

Building acceptance, affection, approval and other qualities of intimacy into your marriage and family is vital for your mental well-being and physical health. Intimate relationships are lifelines in a maddening world.

Yet this subject is foreign to the way many of us were raised. I know because of my own experience. I grew up with the ethic that big boys don't cry, don't ask for attention, don't feel, don't hurt and never say never. They just charge into action.

The only emotion I learned was anger. You could display that on the football field or basketball court. It was acceptable to smack someone in the heat of battle.

If you got injured, you couldn't admit feeling pain. Most guys around me grew up with a similar ethic.

It was a challenge learning these principles, but a traumatic incident reinforced them. I still remember standing on the driveway of my home when Dad introduced me to the woman he said was going to be my new mother.

My birth mother had endured numerous struggles. She spent time in a mental institution back then we called them insane asylums. I found her in a pool of blood after her first suicide attempt.

Despite her problems, I loved her. I didn't understand why I needed a new mother. Most of all, I didn't want anything to do with those creepy little kids that my father said were going to be my new brothers and sisters. On that day I vowed that I would never hug my father again and never shed another tear.

I didn't, not even during the Vietnam War when I lost so many friends in combat. Not even when a close friend died in my arms after snipers pinned us down with a surprise attack. I loaded my buddies' broken, twisted bodies and burned flesh on helicopters and never shed a tear.

This pattern continued when I rejoined civilian life and married. I never let my wife, Susy, see the inside. However, after becoming a Christian, I learned that Jesus, the strongest Man who ever lived, wept over others' pain (John 11:35).

I saw that I had real needs. What's more, the partner that God had given me could help meet those needs. I'll never forget the first time I poured out my

とはありませんでした。けれども、クリスチャンになった後、この地上で最も強い男だったイエスさまが、他人の痛みを見て涙を流したことを学んだのです（ヨハネ11：35）。

私には確かに多くの大切な要素が欠けていると分かりました。さらに、神さまが私に与えて下さった伴侶が、私のこれらの必要を満たし、助けとなれるパートナーだということに気づきました。私は決して忘れないでしょう。妻に自分の心を初めて開き、注ぎだした日のことを。怒りやストレス、憤りから怒鳴りちらす代わりに、私はこう言いました。「ハニー、僕は今日、本当に傷ついたんだよ。最悪の日だった」。私が心地よい涙を流している間、妻は私を慰め、頭を抱きかかえてくれました（ローマ12：15）。

キリストがしたように感情を表に出し、神さまが私たちを形作ってくださったように行動することは、何にも代えがたいことです。神さまは、私たちが感情を持つようにお創りになり、それを表現するようにされたのです。私にはそれを学ぶ必要がありました。

誰もが何らかのチャレンジ、屈辱、痛み、そして失敗を経験しています。私は感謝しています。私が辛い経験の最中にある時に、妻がとても敏感に、思慮深く対応してくれたことに――。

数年前、私たち家族はアジアを旅行しました。韓国に行き、水田が続く道路をドライブしていた時、私の脳裏に戦争の記憶がまざまざと甦ってきました。水田で奇襲攻撃にあい、仲間の20～30%を失う経験をしたら、誰だって忘れられないでしょう。

水田というのはユニークです。あたかも、洪水があった直後のように、耕地に水がいっぱい張られ、その水の中から稲穂が顔を出しています。その光景を見た時、私は一瞬、ベトナムの泥んこの中を軍と一緒に駆け抜けた時のことが頭に浮かびました。敵の兵隊たちが、木々の間で塹壕を掘っている姿が見えるような気がしました。まさしくそのように待ち伏せしていた敵兵の記憶がよみがえったのです。

車の窓越しに水田をじっと見つめながら、私はそっと、「ウォ」とささやきました。

ちょうどその時、スージーが私の方に体を寄せて、「フィル、まるでベトナムみたいじゃない？」と聞いてきたのです。

「ああ、そうだね。まさしくベトナムだ」

「その時のこと、ちょっと話してくれないかしら」とスージーが言いました。

「そうだね。ちょうど、こんな風に水田があってね」と私は語り始めました。

その話は妻や子どもたちに以前話したことがありました。しかし、彼らは話を聞こうとする姿勢を示し、私が経験したことを感じ取り、受けとめてくれていました。それは、優しい招きを現す姿勢でした。私の心の奥底を分かち合うように、うながしをもたらす優しさです。

その優しいうながしは、私の人生に深い意味をもたらすものでした。なぜなら、私はベトナムから帰国して以来、そこで体験した辛い出来事を誰にも打ち明けられずに過ごしていたからです。戦争は人に好まれるものでなく、それを喜んで論じ合いたいとは誰も思わないものです。

heart to her. Instead of bellowing out in anger, frustration and resentment, I said, "Honey, I really hurt. I've had a bad day."

She nurtured me and held my head while I enjoyed a good cry (Romans 12:15.)

There is nothing like freeing up our emotions the way Christ did, the way God designed us to do. He created us with emotions and the means to express them. I needed to learn how to do that.

Now, everyone has been through some challenges, humiliations, pain and setbacks. I'm also thankful for a wife who has become very sensitive to some of my experiences.

A few years ago we traveled overseas to Asia. As we drove past a range of rice paddies in South Korea, it stirred up some vivid war memories. When you get ambushed in a rice paddy and lose 20 to 30 percent of your company, you never forget it.

Rice paddies are unique. They're like flooded fields with rice sprouting up in the mist of the water.

When I looked at them, in a flash of time I envisioned our troops charging across the muck in Vietnam. I could almost see the enemy troops dug in on the tree line. Just like that, the ambush came springing back to life.

Staring out the car window, I whispered softly, "Wow."

Just then Susy leaned over and asked, "Phil, does this look like Vietnam?"

"Yeah, it does. It really does."

"Tell us a little bit about it," she said.

"Well, this is the way the rice paddies were over there..." I began.

She and our children had heard the story before, and I didn't break into tears. But their willingness to listen recognized something I had been through. It represented a tender invitation to share something deep in my heart.

One reason it meant so much is that when I returned from Vietnam, I couldn't share things with people. The war was unpopular and they didn't want to discuss it.

Even worse, college acquaintances actually cursed at me and called me the enemy. I wanted to crush those squirts, but my desire to go to law school prevented that. Still, the pain lingered.

It was wonderful to have a wife proud of what I did, who has been willing to say on certain occasions, "How did that feel? Would you just share with us?" I've been able to shed tears with the one whom God

さらに悪いことに、大学の仲間たちは実際に私をのり、敵呼ばわりしました。私はそうした批判的な人々を陥り倒したかったのですが、弁護士になるため法学大学院に行きたいという願いがあったので、思いとどまりました。でも、痛みは残りました。

妻は私がしてきたことに誇りを持ち、どんな状況下でも、「あなたは思ったの？ ぜひ、話して？」と言ってくれました。そんな妻がいることは本当に素晴らしいことです。私は涙を見せることができました。神が与えてくれた助け手である妻には。

私は、自分の感情を表現できるようになりました。主イエスがなさった以上に。子どもたちは、貴重な役目を果たしてくれました。私の戦争体験や逃亡の経験に耳を傾けてくれることで。そして彼らは、私を父親として、また一人の男性として認めてくれました。

感情を表に出すということは、必ずしも目に涙をいっばいためるということではありません。家族と共に笑い合い、愉快的瞬間を共有する喜びもまた、私は知っています。

これらは、主がもたらしてくれた癒しの計画の一部として用いられてきました。家族の機能を果たしていない崩壊した家庭で育ち、戦争体験という傷を負った私の人生においてです。皆さんが忍んできたことがどんなことであれ、夫婦や家族と親しいきずなを築き、心の深い部分を分かち合えるようになっていることは、そのダメージを修復するための、貴重な助けをもたらすこととなるでしょう。

gave me as my helpmate.

I've been able to express my emotions more the way the Lord Jesus did. Our children have also played a valuable role in listening to my old war stories and escapades, affirming me as a father and a man.

Letting these feelings out is not all teary-eyed stuff, either. I know the joy of sharing laughter and moments of hilarity with our family.

This has been part of the Lord's plan to bring healing to my life from my dysfunctional, broken home and past war experiences. Whatever you have endured, creating intimate relationships in which you can express your deepest feelings will help repair the damage.



のびのび自由に高校卒業!!

- 高卒資格をご自分の能力・個性に合わせムリなく取得したい方
- 最短期間で大学入学資格を希望の方(1~2年で可能)
- あまり学力に自信のない方(どんな方でも高卒資格取得)
- 校則のない自由な校風でのびのびと勉強したい方
- 登校拒否傾向のある方 ●勉強が嫌いな方
- 高校在学中の方も途中転入できます
- 出席日数や単位不足で、進級に関してお悩みの方
- 自分のペース、少人数学習で大学受験を希望する方

多彩な
選択
コース

- ☆高卒のみ取得コース
- ☆高卒+国際コース
- ☆高卒+美術コース
- ☆高卒+保育コース
- ☆高卒+福祉コース
- ☆高卒+大学進学コース
- ☆高卒+音楽コース(ロック、ポピュラーのギター・ボーカル・ドラム・ベース・作詞作曲・ピアノ)
- ☆高卒+芸能・演劇・ダンスコース
- ☆高卒+ファッション&ビューティーコース

「チアっぽん」を見たで
学費割引
あり!!

年間
いつでも
入学OK!!
(転入・新入あり)



週5日制

or

週3日制

いつでも
相談できます!

東京・四谷にあります。地方の方へ男女学生寮あり。

●案内書無料・学校説明会・個別入学相談随時実施 ●不登校生のための講演会有

International Culture School 国際文化学園高等部

TEL 03-3355-9811

ホームページ▶ <http://www.web-ics.jp>

携帯サイト▶ <http://mobile-ics.jp>

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11-6



▲QRコード

ミニ学芸会&ネットワーキング at 東京コンベンション

〔 5月28日(金) 夜7時〜 大ホールにて予定 〕

毎年大好評の東京コンベンションでのミニ学芸会、今年も開催します！ 内容は、賛美、ダンス、暗唱聖句など何でもOK！ 発表時間は1グループにつき3分です。もちろん応援だけでも大歓迎です。後半はネットワーキングの時間です。どなたでも、ぜひご参加ください。参加ご希望の方は、下記の申込み事項を明記し、FAX (03-6862-8648) またはEメール (office@cheajapan.com) でお申込みください。

□1 発表を希望

出演タイトル ()

□2 応援&ネットワーキング希望

ふりがな

代表者お名前 ()

お電話番号 ()

参加者お名前 () ()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

速報！

チア・コンベンション2010 先着抄録

《主講師 フィル・ダウナー氏の予定セッション》

(SESSIONS BY PHIL)

■「かけがえのない父の役割（スージーと共に）」

(Dad's Irreplaceable Role) Joined by Susy

このセッションでは、ホームスクーリング家族を訓練し、家庭を導くうえで父が果たすべき役割について、実践的かつ聖書的な観点から話します。父は子育てに深く関わる必要のみならず、子どもたちに確固たる人格を築き、強固な関係を築くことが必要です。父は力強いリーダーであり、かつ優しく、謙虚であるべき存在です。単なるコーチではありません。神の選手兼コーチ、つまり父自身の実践と模範が大事です。父がこれらすべてをどうやったら、できるのか、その力強い秘訣の1つは、次の3つの文字から始めることです。「fun! (楽しんで、向かおう!)」。

This is a practical and biblical session on the father's role in training the homeschool family and leading the home. Dad needs to be engaged in instructing, but also in building strong character and strong relationships. He is called to be a strong leader and yet gentle and humble. He is not just a coach, but God's player-coach. And one of the most powerful secrets of how Dad can be all these things is to start by being a three-letter word: fun!

■「ホームスクーリング・ママを支援し、励ますために」(スージーと共に)

(Supporting and Encouraging the Homeschool Mom)

Joined by Susy

この分科会では、ホームスクーリングを行う上で、困難に直面している母親の皆さんに、励ましを与えたいと思います。父親がどのように、大切な支援を母親（妻）に対して行うことができるか、たとえば、兄弟げんか、人格の成長、しつけという課題において、その秘訣についても話します。お母さんたちは、あらゆることをなす日々には、休みを取ることも肝心で、子どもたちとより深い関係を楽しむ鍵を見つけることも必要になってきます。ホームスクーリングという家庭生活に起こる問題の中で、お母さん方は、いかにその機会を見つけ、自分の生活に生かしていくか、その鍵をみつけることになるでしょう。

This workshop offers encouragement for moms on the challenges of homeschool family life along with tips for how dads can be a vital support to her on issues of sibling conflict, character development, and discipline. Mom needs to take a breather from trying to do everything and find the keys to enjoying deeper relationships with her children. She will hear how to

see and seize the opportunities in the problems of homeschool family life.

■「真理と愛をもって家族の争いを解決する」

(Resolving Family Conflicts in Truth and Love)

すべきこと・するべきでないことを学び、くすぶり続ける問題に真っ向から立ち向かい、それにどのように対処するかについて、分かち合います。微妙な問題が、激しい議論などにエスカレートしていった、さらに悪化することを防ぎ、悪いパターンから抜け出し、積極的な解決の道への移行の方法を学んでいきます。これは、単に子どもたちに教えるということではありません。古い傷や憤りは、子どもたちを神の似姿を持ったリーダーに育てるための親たちの努力を、気づかぬうちにダメにしていってしまいます。その解決を行いながら、育てていくための必須事項の学びです。この強力な分科会は、これまでにない子どもたちとの親密な関係を建て上げる助けとなれるよう、構成されています。

Learn the do's and don'ts of how to bring up and deal with the smoldering issues, keep difficult discussions from escalating, work through the toughest issues, and change negative patterns of interaction to positive ones. It is imperative that we not merely teach our children but work through and resolve old hurts and resentments that can undermine our efforts to grow them into godly leaders. This powerful workshop is designed to help you build relationships that are closer than ever before.

■「父と息子のための、純潔と説明責任」(男性のみ対象)

(Purity and Accountability for Fathers-Sons) [The only workshop session that is NOT coed.]

男性のみを対象としたこの分科会では、フィルと息子のポール（27）がお話しします。神の似姿の人格、性的純潔の必要性について、聖書原則と実践をもとに、率直に包み隠さず話せる場とします。対象年齢としては13歳以上が望ましく、性的な面について両親からよく教えられている場合に限り、出席をお勧めします。

This men-only talk is given by Phil and his 26-year-old son, Paul. It is a direct, no-holds-barred discussion of the need for godly character and sexual purity, based on biblical principles and with practical applications. It is appropriate for any man age 13 or older, as long as they are well-informed by their parents about all aspects of sexuality prior to attending.

■「ホームスクーラーの結婚生活 - 単なる継続から成功に向かって！」(スージーと共に)

The Homeschool Marriage—From Surviving to Thriving! (Joined by Susy)

ホームスクーラーの結婚生活は日々、強度のストレス、慌ただしい生活ペース、落ち着きを失わせるような、競合する優先順位に直面していきます。もし、これらの脅威を注意深く扱うなら、結果的には、結婚生活や家庭生活は、継続できるだけではなく、まさに「成功する」ことができるのです。この分科会では、計画性、コミュニケーション、チームワークのほか、結婚や家族への重大な支障をもたらす障害の取り扱いについて学び、協調性や心の平安、豊かな実りを養っていく方法について伝えます。(夫婦生活の危機を乗り越えて、ホームスクーリング生活に進んだフィル&スージー夫妻より)

Every day, the homeschool marriage experiences high levels of stress, a frantic pace of life, and competing priorities which work to pull it apart at the seams. If all these forces are carefully dealt with, however, the result can be a marriage and family that is not only surviving, but truly thriving. This workshop deals with planning, communication, teamwork, and the primary obstacles that threaten to rob your marriage and family of relational harmony, peace of mind, and fruitfulness.

■「神を敬う者として訓練する鍵」

(The Keys to Godly Discipline)

わが家の6人の子どもたちは、それぞれにユニークなしつけのチャレンジを与えてくれました。中には、我が家を第三次世界大戦に巻き込んでくれた達人もいます！ この分科会は、私たちの体験談ほか、最も難しい弟子訓練の問題について実践的アドバイスと解決策で満載です。さらに最も重要な、子どもの心やきずなを失うことなく、その行動をしつけ、育てていく方法についても語りたいと思います。

Every one of our children presented unique discipline challenges—and some of them were masters at turning our home into World War III! This session is packed with life stories, practical advice, problem-solving skills for your most difficult discipline problems, and most importantly, how to shape the behavior of your child without losing your child's heart.

ほか、2セッション

《長男ポール氏(27)の予定セッション》

(SESSIONS BY Paul)

■「頑固な子どものホームスクーリング・まさしく私です！」

(Homeschooling the Strong-willed Child — I Am One!)

8歳から13歳までの私は、本当にひどいものでした！ 嘘つきで、盗みをし、怠け者で、自己中心。さらに、兄妹や家族に問題を与える、ひどいかんしゃく持ちだったので。けれども、両親は決して私のことをあきらめませんで

した。神が私の心に手を伸ばし、その方向性を変え、私の生活を一変させるような、聖書的で特別な弟子訓練を行ってくれました。私変えた両親の行いを、どうぞ聞きに来てください。

Between the ages of 8 and 13, I (Paul) was a terror! I was a liar, a thief, lazy, self-centered, and had a fiery temper that caused constant problems for my siblings and family. But my parents didn't give up on me. They applied specific biblical principles of discipleship which God used to reach my heart, change my direction, and transform my life. Come hear what they did that made the difference.

※そのほか、次女アンナさんの分科会ほか多数予定。

分 科 会

■「ホームスクーリングの心。主の教育を伝える」(東京) ～チャーチ&ホームスクーリングを考える会in米沢の活動～ 井上 正人・知恵

山形は米沢の地でホームスクーリングを始めて7年目。周囲にホームスクーラーが起こされず孤軍奮闘の状況が続く中、教会にいらっしゃる子育てに悩む多くのクリスチャンファミリーに、「主の教育」を伝えることを主から示されました。1年半前から「チャーチ&ホームスクーリングを考える会in米沢」を立ち上げ、「聖書を土台とした教育」について学びの会を始めました。その証し。

■「神様が成長させてくださることを信じて」(東京)

上原 栄治・知子

長男の就学を機に始めたHSも早8年目！ 子どもたちは中2、小5、小1になり、各人の興味・行動は分かれてゆき、親の対応はラクになるところが大変に。いまだ試行錯誤の毎日、勉強の進まなさに落胆することもしばしば。しかし、神様の守りが常にあったと感謝しています。子どもたちは意外に従順、そして明るい！ 最近の日常の様子や、それを通して示されていることなど、仕事に忙しいお父さんと普通のお母さんが飾らずにシェアしたいと思います。

■「公教育とその影響」(東京)

宇佐神 実

無神論者であり進化論者である遺伝学者リチャード・ドーキンス博士は、近年2冊の本を出版しました。「神は妄想である」と「進化の存在証明」です。ドーキンス博士は創造主の存在を否定し、人々に進化論が信じさせようとやっきになっており、創造主や聖書には大量虐殺など大きな問題があり、そのような宗教はおかしいと教えるのです。これらは、私たちや子供たちが世の人々から受ける典型的な反聖書的な質問となるでしょう。これに対してどう答えるべきかを考えます。

■「創造に関する疑問に答える」(東京)

宇佐神 実

創世記1-11章は聖書全体の土台となっています。そこには、最初の歴史が書かれているだけでなく、人が罪人である理由、救われなければならない理由、救い主出現の預言、裁き、今日多くの言語がある理由、民族の目録等が書かれており、きちんと把握しておくことで自分の今置かれた位置と将来を展望でき、確信のある信仰をもつことができます。質問のある方、質疑応答を聞きたい方は自由にご参加ください。

■「我が家のホームスクーリング」(関西)

浦上 豊秋・悦子

私たちは、高校3年生、中学3年生及び小学3年生(2010年4月現在)の3人の子育てをしています。これまで、チャーチスクール、インターナショナルスクールを経て、3年前からホームスクーリングに移行しました。現在、私たちは広島にあるジーザスフェローシップ広島で展開されているホームスクーリングマインドのチャーチスクールをペースメーカーに、日々子どもたちは成長させてもらっています。転勤族である私たちのホームスクーリングの歩みと素晴らしい神様の恵みを分かち合えればと思います。

■「啓明宮城小学校の生活・様子」(関西・東京)

太田 仁一

子どもたちが、この世の影響を強く受けている。ならば、自分たちの子どもは、自分たち(キリスト信者)の手で教育しよう。このようにして1967年啓明宮城小学校は開校しました。学校には、子どもに学んで欲しいこと、覚えて欲しいことがあります。そしてまた子どもの学びは親の学びでもあるのです。ここでの子どもたちの生活や様子がホームスクール、チャーチスクールの保護者方々の参考になれば、と考えます。

■「On Going! ~主にある現在進行形~」(東京)

梶山 直樹・志津

牧師として3年間教会付属の幼稚園園長として仕えさせていただいた中、感じたことを分かちます。主との関係、夫婦、子どもとの関係、教会との関係、社会との関係をもう一度一緒に見つめ直しましょう! その上で、私たち両親と子どもたちの主にある健全な自覚と自立をめざします。そして、それは両親である夫婦が三位一体である神様との親しい交わりの中で御霊の力、導きを得て行かなければ、不可能であることを共に学びたいと思います。

■「私たち夫婦の構造改革(2) ~二人は一体となる。この神祕は偉大です!!~」(東京)

梶山 暁・明日美

第2子の誕生により夫婦の一大危機に直面した偽善者夫とファリサイ妻が(昨年の証しより)3人の子育てに追われながらも、日々楽しくラブラブでいるために主が教えてくださっている秘訣を具体的な方法や証を交えてお分ちします。

・霊、心、体 あらゆる面で一体とされることを目指して

- ・ロマンスだって大事!!
- ・本物vs偽物コミュニケーション
- ・仕事や子育てに疲れ切ってしまうための秘訣 etc.

■「父の仕事とホームライフのつり合い」(東京)

倉白 あんどりゅ

仕事からの要求やプレッシャーが多くある日本では、どのように神に喜ばれる夫と父になれるのか。何を優先すべきだろうか。聖書的に考えて仕事と家庭のつり合いを探る。19年間会社員として勤めながら、夫、8人の子供の父・先生、牧師の責任もある経験から話す。

■「小西家流のホームスクール〜ターニングポイントはHSババ友ネットワーク〜」(東京)

小西 辰則・智恵美

チャーチスクール時代、チャーチ&ホームスクール併用時代、そしてホームスクールの現在。それぞれの状況の中、試行錯誤を重ねてきた9年間。まだまだ未熟な両親とは裏腹に、娘たちは健やかに、そして着実に成長してきました。神様の祝福は、いろんな形で私たちにも届いています! 小西家が、ホームスクール思案中のファミリーに良いきっかけや励ましになれば幸いです。

■「世の光地の塩」(東京)

スミス とも子

現中1(12歳)、小5(10歳)の男の子二人、HS4年目に入りました。できること、やりたいこといっぱい、と同時に、この世への執着も強い、ティーンエージャー入り口、自立心旺盛な長男。思いやりのある優しい子、でも、勉強になると、やる気・集中力でチャレンジを受け続ける、失敗に弱い次男。

彼らが主を知ること求めつつ、必要な教育訓練を受け、賜物を伸ばすことができるよう、日々主に助けを求めている、スミス家のHSをご紹介します。バイリンガル(ACE、進研ゼミ、HS+チャーチスクール)教育中。

■「歩みに合わせてゆっくりと〜アレンジ自由自在〜」(東京)

高倉 正・幸子

我が家は長女10歳、次女7歳、三女4歳、長男1歳半の4人の子供と私達夫婦の6人家族です。長女の誕生と共にチアを知りホームスクーリングを始めて足掛け10年、日々繰り広げられるあらゆる問題の解決を主に求め、お互いを思いやり、家族皆が明るく生活をし、会話をし、食事をするという日常を大切にしながら、子供と一緒に前進する毎日です。都会でもなく田舎でもない土地に住み、夫婦とも何かの一芸に優れた者でもありませんがホームスクーリングを続けてくることができました。この10年間の私たちの歩み、わが家にもたらされ、話し合わせ、トライアル・アンド・エラーしながらも歩んできた道のりをお分かちしたいと思っています。

■「かずしくんのホームスクール日記」(関西)

谷 清志&友香里

長男かずしを小学校1年生からホームスクールにして、

今年で3年目になります。やってみて気がついたこと、教えられたこと等、日常をありのままにお分かちしていきたいと思います。タイトルと同名のブログも発信中です。

■「ホームスクーリングを決断した理由」(東京)

月城 聖一・美和子

長男(中2)は6年生の2学期から、長女(6年)は5年生から、次男(5才)は4才から始めて1年余りです。教会開拓、母の介護、加えて始まったこれでよいのか?? 月城家のホームスクーリング?の日々から、おぼろげに見えてきた真珠のような宝物。「すばらしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。」長い間ふみきれなかったホームスクーリングを決断した理由、その中から見えてきた私たちの真珠についてお話させていただきます。

■「ホーム&チャーチスクールの明暗」(関西)

辻 秀彦

ホーム&チャーチスクールを始めて7年目を迎え、ようやく一区切りとなる、高校卒業生をこの世に送り出すところまでこぎつけました。神様の恵によらなければ続ける事は到底できなかった事はもちろんの事ですが、教えられた「ホーム&チャーチスクールの明暗」について分かち合いたいと思います。そして、皆様の意見もお伺いできればと思います。ともに学ぶときとしたいと願っています。

■「学習面での不安解消」(東京)

豊田 肇・宏子

ホームスクーリングの中で、聖書の価値観を教育しながらいかにして大学入試に合格する対策を計画的にするのか?という疑問を解決したい方に明快なヒントを提供します。親と子の絆づくりからスタートする勉強方法や予備校、通信教育など教材選びについて納得できるまで解説します。現在学習方法で悩んでいる方はこの分科会に出席することで即日解決します。期待してご参加ください。

■「中島家のホームスクーリング～聖書を土台として生活するために～」(関西)

中島 若樹・啓子

ホームスクーリングを始めて、6年目を迎えています。その間、家族が増え、現在、12、10、7、5、2、0歳の6人の子どもたちを育てています。聖書を土台とした教育…口では素晴らしいながら、実際どのように実践したら良いのかを模索し続けている日常の様子や、学んだことを分かち合います。また、長男が中学生になったため、学校とのやりとりも再び経験しました。子どもの成長に伴い、学習内容や、進路についてなど、問題、課題、チャレンジは続きますが、大いに神様に期待していきます。

■「順風満帆?五里霧中? —続ホームスクール航海記—」(関西)

那須 清志・百合美

ホームスクールを始めて早7年目。予期せぬ困難や予想以上の祝福など、様々なものをたくさん受けてきました。「私と私の家は主に仕える。」(ヨシュア記24:15)はクリス

チャンホーム皆の願い。これを主はどのように実現に導こうとしておられるのでしょうか?一緒に考えていければと思います。

■「チャーチスクール10年目—感謝と喜び—」(東京)

西村 内弘

チアにつぼんの発足に励まされて、念願のチャーチスクールを開校しましたHICS はいよいよ4月から10年目に入ります。不安や恐れも皆無ではありませんでしたが「後継者の育成、収穫のために働き人の派遣」のビジョンに立って前進してきました結果、10数名のスタートが、現在プレスクールから、小、中、高生が学ぶスクールに成長しましたし、5年前からカレッジも始まりしました。

時には困難もありますが、教会のお祈りに支えられて使命の実現に向けて進んでいます。今回は1. 理念の大切さ、2. スタッフの成長、3. 家庭との協力—などに焦点を合わせて、互いに分かち合いをいたします。

■「藤本家のホームスクーリング(2年目に突入)」(関西)

藤本 正・尚美

ホームスクーリングについて、'07白馬で知り、'08白馬で確信が与えられ、'09にホームスクーリングを始めました。始めるきっかけ、始める為の親への説明、在籍校との話し合い、そして、現在に至るまでを「恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけません。」との御言葉の示しを受けて、ありのままをお話させていただきます。

■「神様からのプレゼント—のんびりHS」(東京)

藤本 泰俊・麻矢子

私達が属する教会では、長女が産まれた2003年に、チャーチ&ホームスクールセミナーが行われました。その後、教会に与えられたビジョンは中断され、一方で私達は白馬セミナーやコンベンションに導かれ、親が子供の教育の最終責任者であるとの思いが強くされました。今までの歩みや子供と過ごす日々の恵み、私達の親やお友達信仰との葛藤、教材について等、おわかしきたらしめています。決して「お手本」にはならない我が家ですが、「見本」「ケースレポート」の一つとして少しでも参考になれば感謝です。

■「ホーム・スクール4年目の秘密」(東京)

堀井 卓・ユリ

ホーム・スクールに対してどちらかというと、ネガティブな印象を持っていた私たち夫婦がどうしてホーム・スクールを始め、そして4年も続けることができたのか。その秘密をお話します。長男14才、次男12才、長女9才、三男2才

■「ティーンエイジャーからのホームスクール」(東京)

堀井 洋二

長女の瑠都は高校から、次女の帆南は中学生から、2人がティーンエイジャーになってから始めたホームスクール。夫婦の歯車、親子の歯車がなかなかかみ合わない時期

もあったけれど、それを乗り越えつつ、やって来て良かったなと思っています。

1. 夫婦のチームワークを築く。2. ティーンエイジャーの心を扱う。3. 信仰を育てる。4. 自主的に勉強できるモチベーションを育てる。5. 地域や学校に対応する。6. 他のホームスクーラーと連携する。7. 将来の夢を育てる。——このあたりを体験を交えながらお話ししたいと思います。ブローグー<http://higepapadiary.blog18.fc2.com/> 『ひげぱぱ日誌』で、わが家のホームスクールの様子など紹介しています。

■「～三世代7人（ひとりはお腹の中）・HS奮戦記～」 （東京） 松岡 淳裕・みぎわ

【淳裕】50歳になる年に第三子が与えられ、間もなく誕生します(予定日7/7)。長男6歳、次男4歳でスタートしたHS、7年めに突入。「出来ることなら次は妻のお腹の中にいる時から…」の念願がかないました。ひとまわり違いの長男、10歳違いの次男との関係やいかに…！ 祖父、祖母、父、母、長兄、次兄に囲まれて生まれてくる第三子に対して、主はどのようなご計画を持っておられるのか…？ またまた新たに展開している、我が家のHSの恵みと祝福をお分かちしたいと思っています。

【みぎわ】長男の小学校入学を機に始めたHS。その年の白馬（初参加）で、先輩HSの子供たちの信仰と態度に大きな衝撃を受けたことを、忘れることはできません。その長男もこの春、小学課程を終え、心身ともに新ステージに入りました。地域と小中学校との関係、息子たちの子育て（女である母親が、女のかしらとして立てられている男（息子）をどう育てるか）、三世代同居の悩みと祝福…、葛藤と祈りを通して学ばされていることを、現在進行形でお分かちしたいと思っています。

■「形より本質を大切に！ ～聖霊に導かれて～」 （関西） 山川 哲平・真紀子

6人目「美波（みなみ）」が今年3月誕生。（聖霊の美しい波という意味）チアと出会い、3家族を中心に、C&Hがスタートして、5年目に突入。長女は幼稚園から初めて現在2年生。私達がC&Hに至った経緯や、最近の様子。成功談や失敗談。個々の賜物に応じた教育。公立小学校や教育委員会とのやり取り。福音宣教。また、新たにアメリカンスクールが教会でスタート。ホームスクールならではの柔軟性を生かして、子供達を主の教育と訓戒で育てる。形やプログラムにとらわれず、いつも、主に聴きながら、本質を求めて行きたい。C&Hに興味のある方、これから考えている方、是非お越し下さい！

■「どうやってしつければいいの？」 （東京） 吉村 忠敏・則子

これまでの我が家のホームスクーリングを簡単に紹介させていただき、その7年間の試行錯誤と現在幼児教育に携わる中で、確かにその通りだなあと分かってきた聖書的な教育を、「子どもを愛する親はどうやって子どもをしつけるのか」というテーマでお話しします。

1. 子どもにはしつけが必要、2. 親の権威と責任、3. 子どもの尊厳を守る、4. 賞と罰について、5. 子どもの個人差を理解する、6. 親の限界とキリストの福音、7. 確信が与えられたことを実行する、8. 推薦図書、のポイントでお話しします。ぜひ、お出でください。

■「ホームスクーラーたちと楽しむ イベントのあれこれ」 （東京） 渡辺 健・まゆみ

数年前からホームスクーラーのネットワークや励ましを目的としたイベント（スポーツディ、かるた大会他）をおこなってきました。今回はそれらのイベントのノウハウや子どもたちをやる気にさせるちょっとしたコツ、また証しをさせていただきたいと思っています。また5人兄弟姉妹（上は14才から下は1歳5カ月）のホームスクーリングの様子、親の葛藤、主からの訓練…などお分かちしたいと思います。

■「チャーチ&ホームスクーリングの素晴らしい力と恵み」 （東京） 渡辺 亨

主の御心と導きを確認してチャーチスクールを始めて以来6年が経ち、3月には1人の女子生徒が中学部を卒業しました。そして4月からはアットマーク国際高等学校に進学し、生き生きと、みずから進んで勉強しています。この分科会では、実際にチャーチスクーリングを6年間経験してきた彼女自身からの生の証言を聞いていただく時間を持ったり、チャーチスクーリングを行う上で大切なこととして私たちが留意してきた原則のいくつかを分かち合ったりしながら、チャーチ&ホームスクーリングが現実に持っている素晴らしい力と恵みについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



「ファイアー・ストーム」 無料試写会&DVD販売会 受付中！ 全国に展開中!!

本来、DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目での許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まず、チア・にっぽんに資料をご請求いただき、申込書に必要事項をご記入の上、ご返送いただきます。このような手続きを取るのには、メーカー側の許諾済みの上映会であること、窓口（チア）が認識し、第三者に公の場所での上映について、著作権等の問題を問われても、しっかり説明責任が果たせること等を目的としたものです。

この手続きさえしっかりと行えば、これまで上映用の高価なDVD等や煩雑な手続きが必要だった上映会が、無料で、合法的に開催できます。既に、これまで全国20箇所近くで試写会が開催されてきました。実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。今後の予定は、下記をご覧ください。皆さんの教会でも、両作品からの大いなる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。

詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX 03-6862-8648）。



＜これまでの全国試写会リスト＞

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会（ヤマハリゾート）
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード（ヤマハリゾート）
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- 札幌 ICF教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）

＜今後の試写会予定＞

「ファイアー・ストーム」

- 4月4日（日）午後
石川 小松ベタニヤ福音教会 0761-22-7808
- 4月29日（木・祝）午後2時
滋賀 東近江キリスト福音教会 0748-22-4676
- 4月29日（木・祝）午後2時
静岡 VIP浜松 070-5644-8082
- 5月9日（日）午後
岡山 西大寺キリスト教会 086-943-7552
- 5月21～22日、28～29日
チア・コンベンション（関西・東京）
- 5月（日にち未定）
兵庫 広畑キリスト教会 079-239-3952
- 5月（日にち未定）
千葉 グレイスチャーチ 043-253-1850
- 6月8日（火）
フォースクエア教団（年次総会）
- 6月13日（日）午後
有明バイブルチャーチ 0968-62-5870

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 5月4日（火）午後
FCMF（自由クリスチャン伝道団） 0761-43-2807

ライフ・ライン 「無条件の愛」

<3月20・21日放送> 30分



<番組案内>

映画「ファイアー・ストーム」は、離婚の危機に直面したケレブに、「40日間待ってほしい」と父から1冊のノートが届く。聖書からの40の知恵。実践してみるものの、状況は好転せず、…。全米4位となり、大反響を呼んだ映画の中軸をなすノートは「決断する愛—夫婦の危機を救う40日プラン」として出版され、全米で300万部を突破した。「ファイアー・ストーム」の展開を進めるチア・にっぽん代表・稲葉寛夫さんをスタジオに迎え、お話を伺う。

番組のDVDが販売されています。(1番組600円) お申し込みは、下記からどうぞ。

(http://pba-net.com/shop/shop_1ldvd.html)。

《視聴者からのコメント》

今朝ライフラインに出演されている稲葉さん！を久しぶりに見ました。あーなんかなつかし〜と笑っちゃいました。ふふふ。相変わらず前例のないことをいろいろされていて、神さまはすばらしいと思いました。(Mさん)

CGNTV「本の旅」コーナー

「ファイアー・ストーム
決断する愛」

<3月12日放送> 30分



久米小百合さん



番組は、以下↓のHPからご覧になれます。放送日は3月12日です。司会を務めるのは久米小百合さんです。
<http://japan.cgntv.net/sub.asp?pid=2439>

メディア紹介

<クリスチャン新聞>

「ファイアー・ストーム 決断する愛 夫婦の危機を救う40日プラン」
いざ、「決断の旅」へ！

夫・妻のどちらかが“無条件の愛”を理解し、“決断する愛”を始める、40日間の結婚生活回復プログラム。伴侶を「あなたの希望どおりの人物へと変えていくため」でなく、「あなた自身から始め、あなた自身が本物の愛を発見し、実践し、成長していく旅」。そんな「決断の旅」へ、読者をいざなう。



<恵みの雨>

夫婦の危機を救う40日プラン
「ファイアー・ストーム 決断する愛」

この本は、伴侶のために、まず自分自身が本物の愛を発見し、成長していくためのレッスンだ。40日にわたり、愛の特徴について1つずつ学び、それを伴侶に対して実践し、結果と反省を記す。相当の覚悟が必要だが、勇気をもってやり遂げる者には祝福もまた大きい。アメリカでは300万部が読まれ、多くの夫婦が変えられている。

この本がもとになった映画『ファイアー・ストーム』は全米で4位のヒットとなった。消防士ケレブが結婚の危機を通して神の愛に出会い、愛する妻を取り戻していく物語。本とセットでお勧めしたい。

<リバイバル・ジャパン>

ファイアー・ストーム 決断する愛

伴侶を愛するための40日プラン。タイトルに「決断する愛」とあるように、意志をもって相手を愛するようへと導く。その40日は、①愛についての学び②愛の実践のための具体的課題③日記を書くスペース—の3項目で構成されている。「愛は忍耐」「愛は親切」「愛は自己中心でなく」…と続く。

しかしこれは、自分が愛のない罪深い人間であることを露わにする。そして20日目に「愛はイエス・キリスト」としてキリストを紹介し、信じるように導く。つまりこの本は、夫婦関係を回復させる書のように見えながら、実は伝道的な本なのだ。

チア・ダイアリー

Chea Diary

すべて、伝道のためにー 石黒早苗・妙子医師たちの祈り

時間が過ぎるのは、早いですね。昨年、チアのブレインの一人でした産科医、石黒妙子医師を天国に送りましたが、早くも1年が過ぎ、記念会が開かれ、参加しました。850人もの赤ちゃんを取り上げ、全家族に聖書を配り続けた妙子先生を慕い、300人あまりの方が、礼拝、記念会に参加されました。話したい人は思い出を語るというアイデアを石黒早苗医師（内科・精神科）が、秋に話してくれました。「長くなったら、みんな疲れてしまうから、1分30秒とか制限して、時間過ぎたらチャイムを鳴らしたらいいと思いますが、…」と助言しました。

石黒医師は会のオープニングで、「秋に稲葉くんに相談した時に、時間制限とチャイムを鳴らすように。そうじゃないと皆さん疲れるということで、…」と話してくれ、うれしかったです。皆さん、時間内に、とてもいい思い出話

しを分かち合ってくれました。

僕は聖書のみことばを軸に話しました。教会に来てまだ2回目という方が、聖書の箇所を確認に僕のところに来てくれました。「昨冬亡くなった我が家の主人は、この教会の向かいの小学校に勤務してて、何か辛いことある度に、教会見て、心休めてたーって言ってました。それでこの教会でお葬式をしてもらいました。今日は、その時以来、2回目。とても良かった」とのことです。いろいろな方法で、伝道は進みますね。とにかく、伝道になるようにと祈っていた石黒夫妻の祈りも答えられたと思います。

「しのぶ会」の終了は、予定の午後3時、ぴったり。少しは貢献できたなーと思って、ハレルヤ！でした。

松本 明さん 結婚へ！

奈良県のホームスクーラー、松本明さんの結婚式に参加させていただきました。3年前、佳子さんが突然、心臓発作で召され、以降、公立のキャンプ場で働きながら、3人の子どもさんたちホームスクーリングしてこられました。奥さんは、同じ教会で、佳子さんが励ましてこられた真寿美さん。長女のなっちゃん（19）が生まれる前から松本さんご家族と交流のあった方でした。



式後、披露宴では、先方のご親せきの方も多かったのですが、松本さんのご紹介を兼ねて、「松本さんは、誠実な方で、日本全国の多くのホームスクーラーを励ました存在ですよ！」と紹介させていただきました。おめでとうございます！

ちなみに駅と教会の送迎は、なっちゃんが運転してくれました。免許取り立てで軽い事故もあって落ち込んでたとのことなので、僕の事故体験も、分かち合いました。松本ファミリーへの祝福を続けてお祈りください。



キリスト教理念に基づいた小・中・高・大学部の一環教育

京都インターナショナルユニバーシティー
KIUアカデミー

京都府京田辺市草内ノ坪1-1

学校見学随時受付中

0774-64-0804

<http://www.kyotoiu.ac.jp>

合同学習会－ 絵手紙と体育とQ&A

第8回になった合同学習会、今回も70名あまりの皆さんと、祝福された時を過ごせました。午前中は、新庄さんが江さんによる絵手紙。50あまりのコンテストで受賞している新庄さんは、教えるポイントが的確で、前回のペン画に続き、今回の絵手紙も、大好評。おじいちゃんやおばあちゃん、あるいは誰かに、絵手紙を描いて、チャーチ&ホームスクーリングの便りや、伝道に用いよう！とのこの企画です。後日、「私の娘は天才かと思った」とか、「すごいのができた」とか、たくさんの秀作完成の報告がチアにも届けられました。ハレルヤ！

昨秋、工作した「カーレース・グランプリ大会」も盛り上がり、新チャンピオンも誕生しました。この秋、第二回も予定しています。どうぞ、お楽しみに。

午後は、体育。今回は、腹筋、腕立て、背筋といった基礎体力作りを分かち合わせていただきました。高校野球時代以来、実行してきたメニューの一部です。当時、広島カープや巨人に行った先輩から、「これは最高！」と褒められていたメニューの一つなので、いいと思いました（週3～6回、5回以上、できる回数から少しずつ、増やしていきます）。将来、伝道、勉強、仕事、何をやるにしても、心・技・体は大事。みんな張り切ってやってくれてうれしかったです。

Q&Aの質問は、皆さん、ざっくばらんでとても楽しかったです。「今まで、ホームスクーリングの失敗例はあるのか」「うーん。すべては益と変えられるので、神様の目から見ると、最終的な判断は難しいです。でも、人間的な目で見て、今後に生かすべき事例はあるか」と思います。

80年代にスタートしたご夫妻、特にご主人が牧師で熱心な方だったのですが、ご夫妻の仲が悪くなり、別居、そして離婚に至った事例があると聞いています。詳細を直接、取材してないので、詳しいことは言えません。でも、そこから学べることがあります。チャーチ&ホームスクーリングに向かう時、夫婦にとって、負担も犠牲も共同作業も増えること。忍耐、相手の理解、悔い改め、聖霊の力、形より本質、表面的なチャーチ&ホームスクーリングではない、本質のホームスクーリングが必要になってきます。「夫婦のきずな」の強化への祈りと共に。だから、チアでは、形よりも本質、夫婦のきずなの強化を訴え、そして、コンベンション等でも、そのような講師等を迎えてきました。また、聖書に「情熱だけではよくない」とあります。最初にコンセプトをつかんで、後は独自に展開というだけでなく、時に、バランス感覚や、いろいろな方々の失敗や成功体験等、継続して情報収集や学習の努力も役に立つと思います。それで、コンベンション、白馬等のセミナーら



先日は、合同学習会ありがとうございました。で、早速ですが、親ばか作品を送ります。我が家では、「汀は、天才だ!」と騒いでますが…(笑)。でも、一生懸命、楽しんで書いてましたよ。(堀井卓)

を通して、毎回、新しい角度からの情報提供を続けています。その情報を生かしながら展開していけたらとも思います。もちろん、主のあわれみと恵みの力で進みますが、続けて、共に祈っていきましょう。」

「チアの働きは、なにか、隠された理由があるのではとと思いました。なぜ、そこまで一生懸命、人々に尽くすのか…。そう思って観察しつつ、7、8年になりますので、思いついて聞きます。お金が目的でないことはわかった。大きな教会を作ろうということでもない。では、隠された理由は何なのでしょう？」

「はい。とても、いい質問だと思います。では、隠された理由を、でも、これはいつも話してますけど、話しますね。3つの強い目的があるからです。第一に魂の救い。天国もあるけれど、永遠の煙の立ち昇る地獄もある。家族や教育の力は大きく、子どもたちは、そのどちらかに行ってしまう。だから、最善を尽くしたい。第二に、キリストの弟子の心を与えたい。クリスチャンは、二つに分かれる。肉に属するクリスチャンと御霊に属するクリスチャンと。火の中をくぐるようにして、天国に来るのではなく、そうではない、御霊の無限の力、実を結ばせる人生を過ごしてもらいたい。第三に、伝道・世界宣教に生きてもらいたい。賛美も、聖句暗記も素晴らしいことだけど、それはこの地上の最終目的ではない。それは天国でもっと良くできるので。この地上に僕らが残されているのは、天国に行くからでは直接はできない使命のために。このような私たちを通して、伝道するという目的があるため。100歳になって体が動かなくなっても、お医者さんにトラクトを渡すとか、祈るとか、なにかできる。その使命を刻んでもらいたい。この3つの強い目的に、チアとして、貢献できる

ので、このような自分だけで、感謝してベストを尽くしてきたわけです。正直言って、自分は至らず、まったく不十分だけど、神様のあわれみ故に、悔い改めつつ、やってこれたというわけです。それが、隠された(-)理由です。

「各国のホームスクーラーたちの様子について」

「少し、文化の影響ってあるかもしれません。最近、とても励まされたことがありました。我が家の子どもたちと8、9年仲良く過ごしているオーストラリア系の家族がいます。その家族はとてもおおらかです。でも、和紀子は少し心配していました。子どもたちは、あまり勉強せず、字を書くのもやっとなのです。気立ては良く、我が家とは、とても仲良いのですが、でも最近、20歳を過ぎた次女、ハンナと久々に会いました。ハンナは、東欧での宣教師体験を経て、この春から、中国伝道に向かうとのことでした。ハンナと出会うのは、僕は3年ぶりぐらいですが、彼女は、礼儀正しく、あいさつしてきました。僕は、「あ！」と驚きました。どうなるかなーと少し心配していた彼女が、とてもしっかりした大人に成長し、なにか、さわやかな宣教師となっていたからです。主の助けを感じ、安心しました。中国系とか、韓国系のアメリカ人は、文化的な背景もあるのか、概して勉強熱心です。アジア系の人々がアメリカで活躍するためには、人一倍努力や学力も必要な背景があるからかもしれません。Gさん家族は、そうした中国系のホームスクーラー家族でした。5年前、クリスマス発表会で、Gさん家族は、お嬢さんのHちゃんがバイオリンを弾き、お母さんがピアノ、そしてお父さんがフルートを演奏し、絵に描いたような、理想的なホームスクーリング家族に思えました。でも、それから2年後、Hちゃんの高校進学と同時にホームスクーリングを止めたという話を聞きました。チアとしては、それぞれ神様の導きに従って、形よりも本質をなので、それも導きかなーと思いました。でも、あんなにしっかり展開していたようだったので、とても残念な思いもしました。2年後、クリスチャン書店でG母娘と会い、Gさんが声をかけてくれました。「最近、どう？」



日頃の体力不足を解消！ 基礎体力作りにも取り組みました！

「祝福してくれてると思う。Gさんは？」「うーん。続けていればよかったかな、と。でも自信なかったし、。」「うーん。祝福を祈ってるよ」。微妙かな、と思った会話でした。でも、少しさびしそうでした。勤勉にしっかり学ぶことは、素晴らしいことです。でも、完璧主義にならないで、継続は力！って、感じましたが、。

こうした海外のホームスクーラーたち、様々です。「完璧主義にならないで！」ということを感じます。

《参加者の声》

●今回の合同学習会は子育てを終えた方も数名来られて、感謝でした。みなさんの近況報告を聞いて励まされました。また、チアがどんなに尊い働きで、クリスチャンたちを聖書の真理に立ち返らせる働きをしているのかを実感できました。

新庄先生の相変わらずの、型にはめない楽しい絵手紙講座は、子供から大人まで楽しめて、とても良かったです。絵を描く楽しさをいつも教えて下さり感謝します。また、お子さんの大事な入試の日でしたのに本当に感謝します。

稲葉家の具体的なHSの様子を聞くことができて励まされました。御霊に属するクリスチャンと肉に属するクリスチャンの話がありましたが、子供の為に祈り、神を畏れ、神に従う模範。そして神の憐れみ・恵み。今順調に育っている子供が神様から突然離れたり、反抗していた子供が神様のもとに帰って来たり……。神様の領域は親にもわかりません。(匿名)

●新庄すが江さんの『心で描く』という言葉が響きました。割り箸で描くと味が出ますね！発見でした。日頃ホームスクール奮闘！しておられる方、これからビジョンを持っておられる方とのお交わりは本当に有意義で感謝でした。いつもありがとうございます。(東京 堀井ユリ)

●今学期からホームスクーリングを始めました。日々のスケジュールや何やらと頭の中がいっぱいで、1分間の近況報告は何をしゃべったっけ？という状態でしたが、午後、ドッチボールをして体をほぐし、体育館のすみで稲葉さんの話を聞いているうちに、だんだん元気になってきました。ありがとうございました。

稲葉さんからホームスクーラーのいろいろなケースを聞いて良かったです。特にオーストラリア人のホームスクーラーの話は、学習面で不安を感じている私にとっては、ほっとする話でした。(埼玉 市川晶子)

●集まっていた人たちと楽しく遊んだりすることができて良かった。絵手紙など、なかなか教えてくれる人がいなくてできないのに、それができたことが良かった。(埼玉 市川希望)

長野・下諏訪セミナー ティーンエイジャーの成長

長野・下諏訪キリスト教会に招いていただき、チャーチ&ホームスクーリングセミナーを開催しました。礼拝、セミナー共に、とても楽しかったです。

ずいぶん、ティーンエイジャーのホームスクーラーが育ってきて、うれしかったです。進学についての意見も聞かれました。神様は「志」(ピリピ2:13)を与えるから、積極的に祈り求め、情報収集し、行動してみても話しました。すでに「志」が与えられているみんなもいました。「全国のチアの皆さんに、様々な職業の方々がおられるから、もしその志が本気であるならば、紹介できるよ。礼拝を尽くした手紙を書いて、2-3日とか、体験実習させてもらったら？ 実際、やってみると、自分が本当にそれをやりたいのか、具体的に祈れるようになるし、どんな準備が必要か、あるいは準備する上で動機づけになるよ。僕は、ジャーナリスト志望だったから、まず、どんな道に進むべきか、どんな準備が必要か本で調べ、新聞記者やディレクターたちと会ってもらったり、作文の指導をしてもらったり、そして最後は毎日新聞で半年バイトして、そして、入社試験対策で、パラオに取材旅行に行ったりしたよ。祈り続けるといろいろな出会いや導きが与えられるよ。」「まだ、高校生の段階だから、はっきりしてなくてもいいよ。はっきりしてない場合は、おおむね、理系、文系、芸術系、専門学校、海外、社会人ほか、どの道があつてかなーぐらいの感覚でもいいよ」「ちなみに日本の社会は、2年ぐらいまでは遅れても、どこの会社も気にしないから、じっくり考え、少し遅らせて長く準備し、進学してもいいと思うよ。僕は、2年遅れてるんだ。高校時代野球ばかりで、受験勉強は半年もしてなかったの、現役で入った大学と、もう一つの大学と、2回、1年生をエンジョイしたんだ。2個目の大学でクリスチャンになったので、それは御心だったと思う。でも学生時代、伝道しかしてないような日々で、就職の準備も遅れたので、1個だけ単位を落として、

就職浪人したんだ。でも、主の時というか、2年遅れた分、神様に成長させられていたと思うし、準備も十分できて、祈っていたところに道が開かれたよ。だから、焦らずに、でも、積極的に情報収集して、志高く、トライしてみても。そして、主の道を求めてみて。「真理は自由にする」から、心開いて、キリストにあって大志を抱いてほしい。伝道・世界宣教という目的に向かって！ それぞれ、将来的に導かれた職業の道を通して。進学期間中は、誘惑も多いし、そこで信仰を失う例が多いのは、以前、話したことあるよね。そこは親御さんも、子どもたちも、気をつけながら。キリスト・親とのきずなを失っては意味がないから。それを大事にしながら、でも、主において積極、果敢に、求めて、備えて、失敗を恐れず、主を恐れて、トライ&エラーで勇氣と情熱をもって、進んでほしいなと思ってるよ。祝福祈ってるし、誰かを紹介するとか、なにか、チアでできそうなことあれば、気軽にメール書いてね！」



成長する下諏訪キリスト教会のユースたち

第5回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を表す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

- ◆対象作品：三浦綾子作品（どれでもOK）、チア書籍（どれでもOK）
- ◆部門：（1）小学生の部（400～1600字） （2）中高生の部（800～2000字） （3）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：10月中旬
- ◆発表・授賞式：11月18日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷8-7-13-207 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」

チア・にっぽん カレンダー

●チアにっぽん関東合同学習会トライアル (予定)

・ 4月6日 (火) 国会議事堂見学 (要・申込)

・ 6月28日 (月) ・ 9月25日 (土)

◆国立オリンピック記念青少年総合センター (東京・代々木)

●チア・コンベンション

関西：生駒聖書学院 (奈良・生駒)

5月21日 (金) - 22日 (土)

東京：国立オリンピック記念青少年総合センター (東京)

5月28日 (金) - 29日 (土)

◆主講師 フィル&スージー・ダウンナー夫妻

◆東京・主講師 カレストッド・ファミリー

●チア・サマーキャンプ in 仙台明泉学園

8月12日 (木) - 14日 (土) (予定)

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬 (長野)

11月18 (木) - 20日 (土) (予定)

第4回 日韓ラブ・クリエーションセミナー

日時 4月6日 (火) - 8日 (木)

場所 北区滝野川会館 1階大ホール

(東京都北区西ヶ原1-23-3

TEL 03-3910-1651)

講師 キム・ヨンギル (ハンドン大学総長)

イ・ジェマン (創造科学 宣教会副会長)

宇佐神 実 (創造科学研究会)

宇佐神 正海 (創造科学研究会)

参加費 通常3000円のところ、チアを通してセミナーを知った方は、500円の特価で参加いただけます。

連絡先 090-2339-8369 (森)

